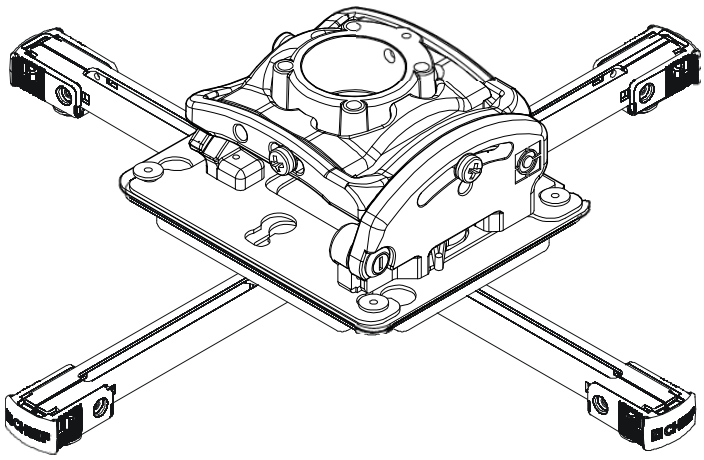
取扱説明書

CHIEF®
A brand of legrand®

天吊りプロジェクターマウント
RPMAU2B / RPMAU2W



RPMAU2(B/W)

このたびは、当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用の前にこの 「取扱説明書」 をよくお読みのうえ正しくお使いください。
とくに「安全上のご注意」は必ずお読みください。
お読みになったあとは、いつでも取り出せる様に保管してください。

必ずお守りください

・本製品はプロジェクター専用の天吊りブラケットです。天井から吊り下げるためには別途オプション製品のシーリングマウント、ポールが必要になります。別途お買い求め下さい。

・プロジェクター本体は別売りです。別途お買い求めください。

・天吊り設置は特別な技術が必要ですので、必ず専門の取付工事業者へご依頼ください。
お客様による工事は一切行わないでください。

販売店様、工事店様へ

●プロジェクター取付重量（耐荷重）22.7kgを厳守して下さい。耐荷重を超える重量のプロジェクターを取り付けないでください。

●取扱説明書で指定しているパーツを使用してください。

安全上のご注意　ご使用の前に必ずお読みください

⚠ 警告と注意！

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

警告：この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

⚠ 警告

プロジェクター取付重量（耐荷重）22.7kgを厳守して下さい。落下や破損などの事故やけがの原因になりますので、耐久荷重を超える重量のプロジェクターを取り付けないでください。

⚠ 警告

部品を改造しないでください。また破損した部品は使用しないでください。落下などの事故やけがの原因となります。

⚠ 警告

取付けているネジがゆるんでいたり、抜けていたりすると、ブラケット本体や、プロジェクターの落下につながり非常に危険です。

⚠ 警告

ボルトやネジ類は指定の位置に指定の本数を確実に取り付けてください。また天井など躯体に取り付けるための固定ネジやアンカー部材などは付属しておりません。
壁の材質や構造に適合したネジやアンカー材料をご用意ください。

⚠ 警告

開閉するドアや家具の扉にぶつかる場所には設置しないでください。また振動の多い場所や、大きな力が加わる場所には設置しないでください。落下や破損、けがの原因となります。

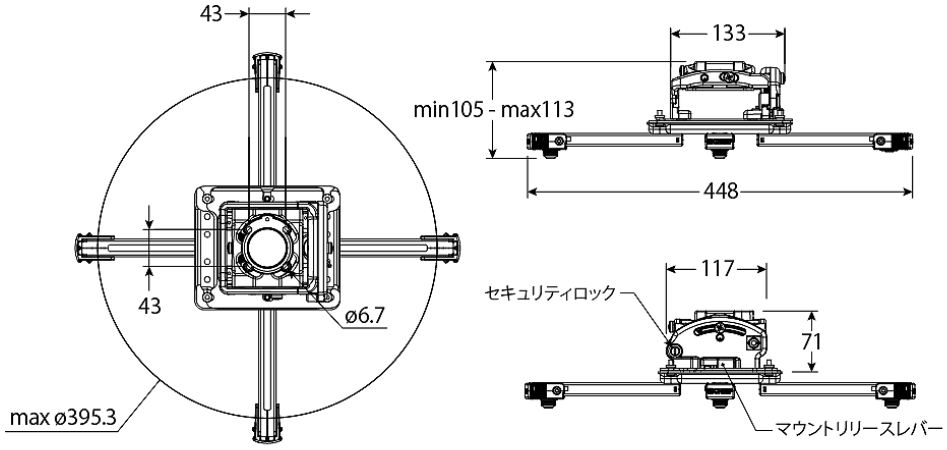
⚠ 警告

作業中、各種パーツや工具に指をはさまないようにご注意ください。

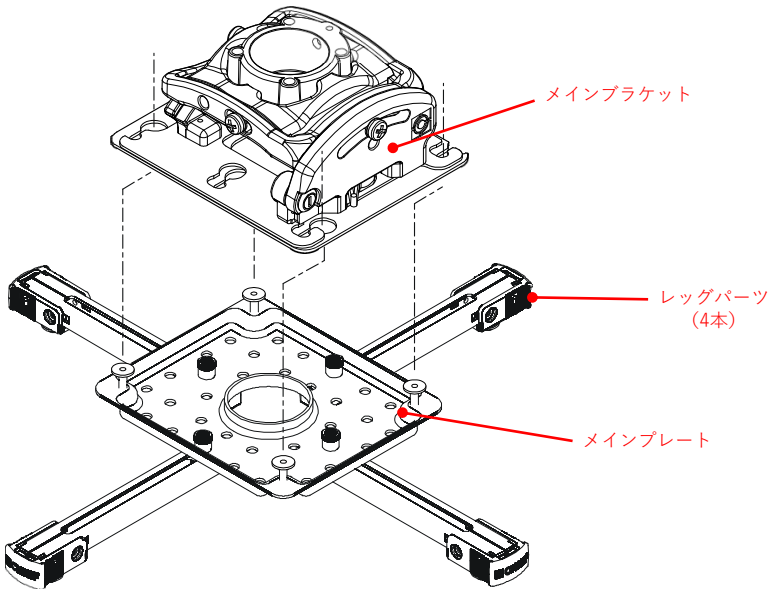
⚠ 警告

運送による破損の可能性があるため、取付作業を行う前、確実に商品をチェックしてください。

●本体寸法図（単位mm）


43
43
ø6.7
max ø395.3
133
min105 - max113
448
117
セキュリティロック
71
マウントリリースレバー

●パーツ各種



セキュリティ
キー（2個）

ビスK（4個）
8-32×3/8ｲﾝﾁ

ビスL（4個）
8-32×1/4ｲﾝﾁ

ビスM（4個）
M2.5×10mm

ビスN（4個）
M3×10mm

ビスP（4個）
M4×10mm

ビスQ（4個）
M5×14mm

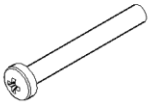
ビスR（4個）
M6×14mm

ワッシャーS
（4個）
M4

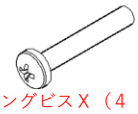
ナットQ
（4個）
M5×12mm

レンチU
（1個）
¼ｲﾝﾁ

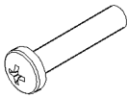
レンチV
（1個）
5/23ｲﾝﾁ



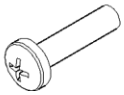
ロングビスW（4
個）
M3×25mm



ロングビスX（4
個）
M4×25mm



ロングビスY（4
個）
M5×25mm



ロングビスZ（4
個）
M6×25mm

スリーブワッシャ
A A（4個）

設置の前に

・設置場所について

- 吊下げもと（天井・躯体など）には総合荷重に長期間十分に耐え、地震や予想される振動外力にも十分に耐え得る施工を行ってください。
- 設置の前に、取付部強度を確認してください。
  強度不足の場合は十分な補強を行ってください。
- 荷重は躯体やトラスなどの堅牢な構造材で受けるように取り付けてください。
- 強度が不十分な箇所への直接取り付けは行わないでください。
  幅木や受け木、天井から吊りさげられた金具などには取り付けないでください。
- コンクリートの壁に取り付ける場合は、総合荷重に十分に耐えるアンカー類を使用してください。

誤った取り付けや強度が不十分な取り付けを行った場合、ブラケット本体やプロジェクターが落下して重大な事故やけがの原因となりますので、十分にご注意ください。

・設置方法について

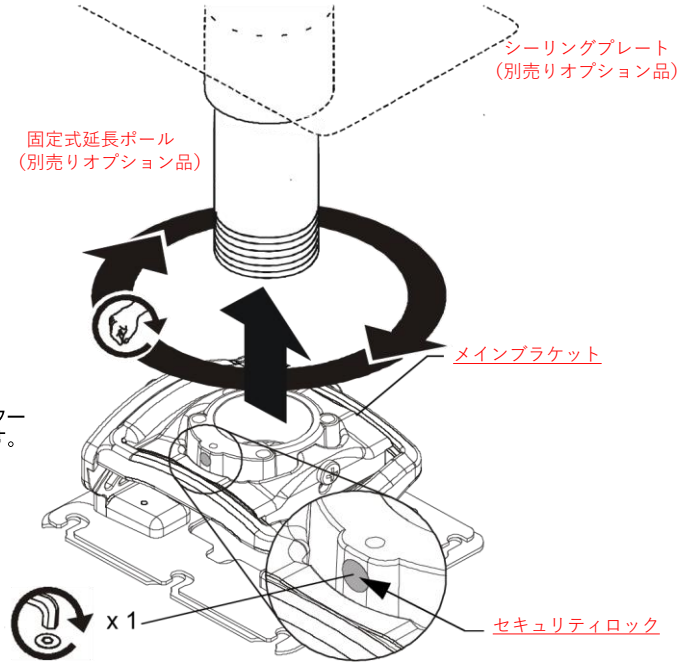
- 各種の壁に対応したアンカー類やネジ等は、じゅうぶんな強度を持ったものをご用意ください。
- 本取扱説明書の安全上のご注意の設置場所についてよくお読みのうえ、適切な設置場所を決めて下さい。
- 図に従って壁面にアンカー処理、下穴処理等を必要に応じて行ってください。
- 天井面など、取付箇所の強度やネジの保持強度が十分確保できるか確認してください。

●メインブラケットの取り付け

▶手順①

メインブラケットを固定延長式ポール（別売りオプション品）に回転させながらねじ込みます。

セキュリティロックを締めることによって、メインブラケットと固定延長式ポールが固定され、回転しなくなります。

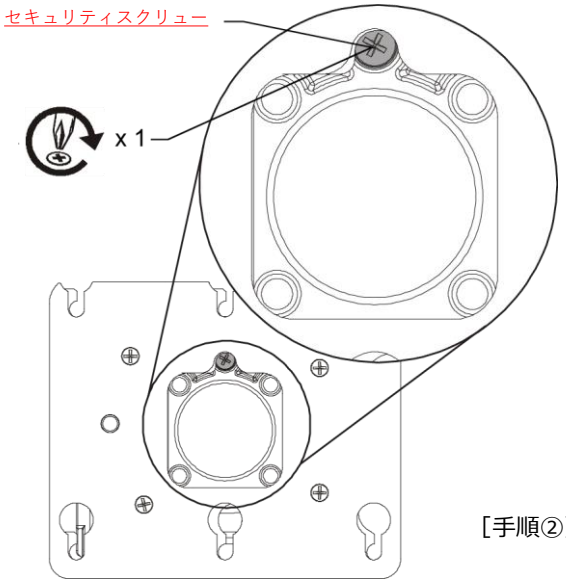


（注意）
・ポール固定ビスは確実に締めてください。
・メインブラケットの水平向きはプロジェクターを取り付けた後でも変更することができます。

［手順①］

▶備考

メインブラケット裏面にあるセキュリティスクリューを強く締め込みます。
メインブラケットごとプロジェクターを取り外すことができなくなり、セキュリティ効果が上がります。



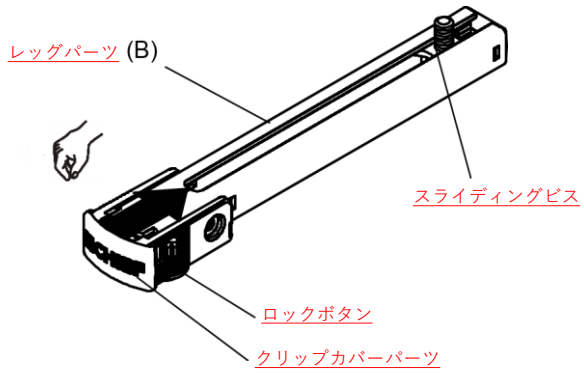
［手順②］ メインブラケット裏面（底面）

●レッグパーツの取りはずし

▶手順②

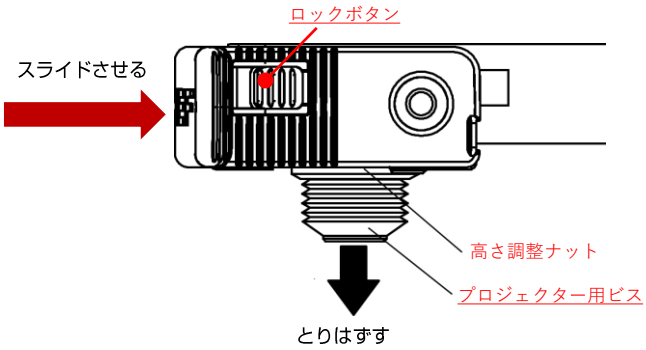
RPMA-U2Bはレッグパーツ（B）の組み合わせや、レイアウトの仕方によって、さまざまなメーカーのプロジェクターに対応することができます。

下のイラストを参考にして、レッグパーツからプロジェクター用ビスを取りはずしてください。



（プロジェクタービスを取りはずす方法）

・ロックボタンをつまみながら、クリップカバーパーツをスライドさせることで、プロジェクター用ビスを取りはずすことができます。

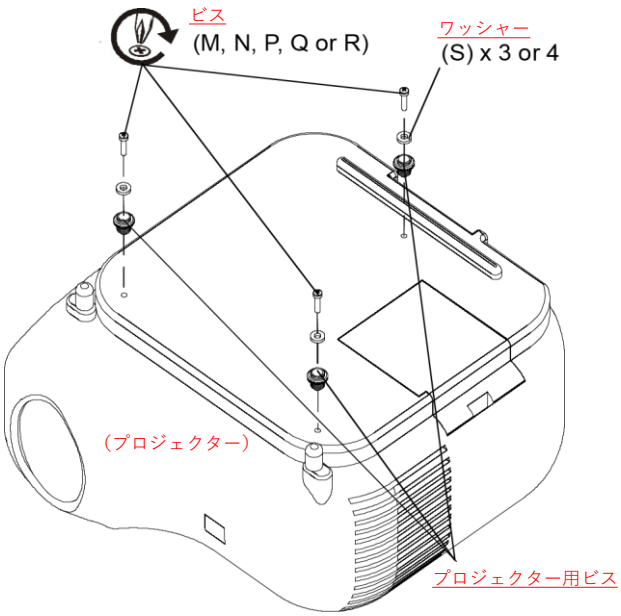


［手順②］

●プロジェクタービスの固定

▶手順③

手順②で取りはずしたプロジェクター用ビスをプロジェクターに取りつけます。



［手順③］

▶備考

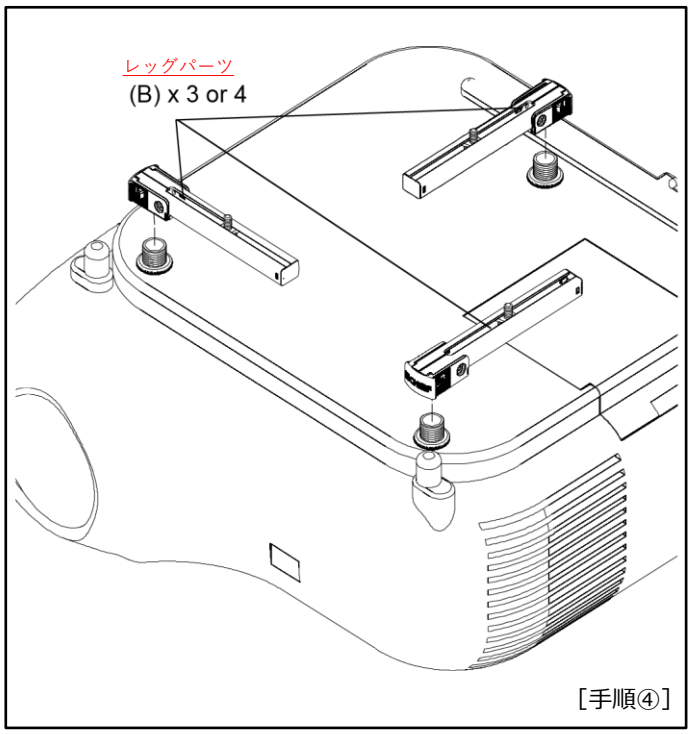
プロジェクター側の取り付け穴の高さが、その穴ごとに異なる場合は、ビス（M・N・P・Q・R）ではなく、ロングビス（W・X・Y・Z）またはナットＡＡなどを混合使用することで、高さを調整してください。

●レッグパーツの組み立て

▶手順④

手順③で取りつけたプロジェクター用ビスにレッグパーツ（B）ををはめ込みます。

手順②で取りはずした際と同じ要領で、レッグパーツ（B）のロックボタンを解除しなが、らプロジェクター用ビスに取りつけてください。



［手順④］

⚠ 注意

プロジェクタービスにレッグパーツ（B）がしっかりと固定されていることを確認してください。

この固定が不完全ですとプロジェクター本体が落下し、プロジェクター本体の破損、またはケガや事故などの原因となります。

●メインプレートの固定

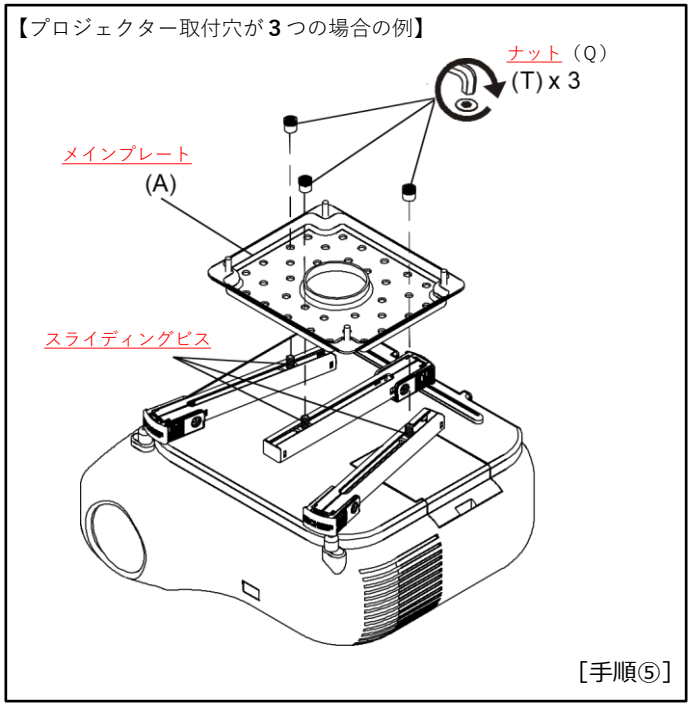
▶手順⑤

手順④で並べたレッグパーツ（B）のスライディングビスに対して、メインプレート（A）を取り付けます。

ナット（Q）を使用します。

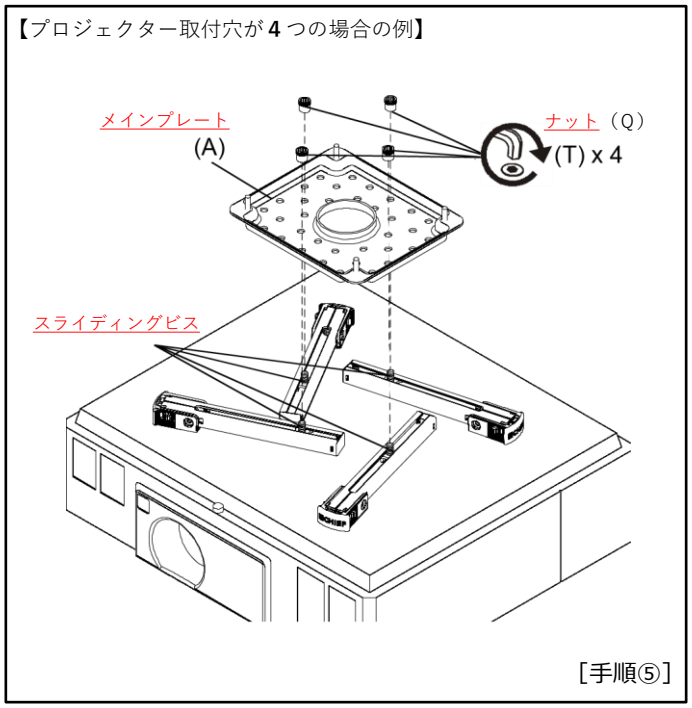
プロジェクターが前後左右に傾かない様に、バランスを保つことができるように、メインプレートの取り付け部分を調整してください。

【プロジェクター取付穴が **3** つの場合の例】



［手順⑤］

【プロジェクター取付穴が **4** つの場合の例】



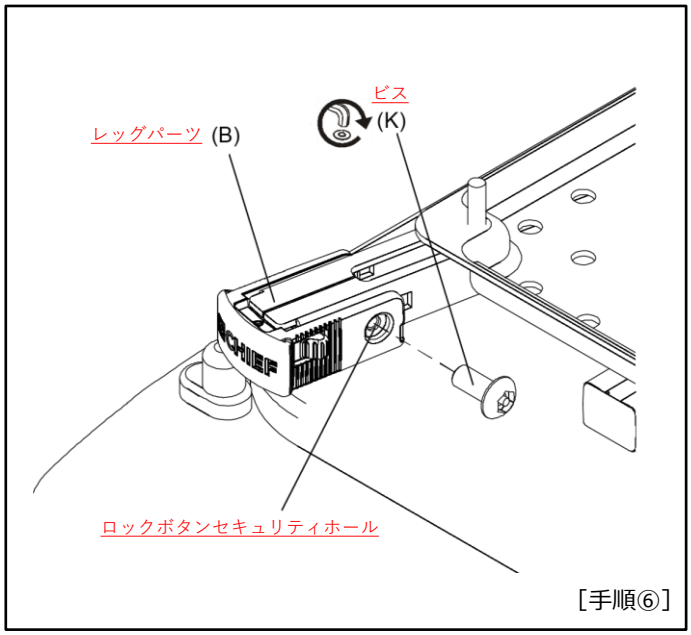
［手順⑤］

●メインプレートの固定

▶手順⑥

手順⑤でメインプレートの位置が決定したら、レッグパーツ（B）先端のロックボタン横にある、ロックボタンセキュティホールをビス（K）で固定　　します。

この固定をすると、誤ってクリップカバーをスライドさせる力が加わったとしても、クリップカバーがスライドせず、プロジェクターの落下を防止します。



［手順⑥］

⚠ 注意

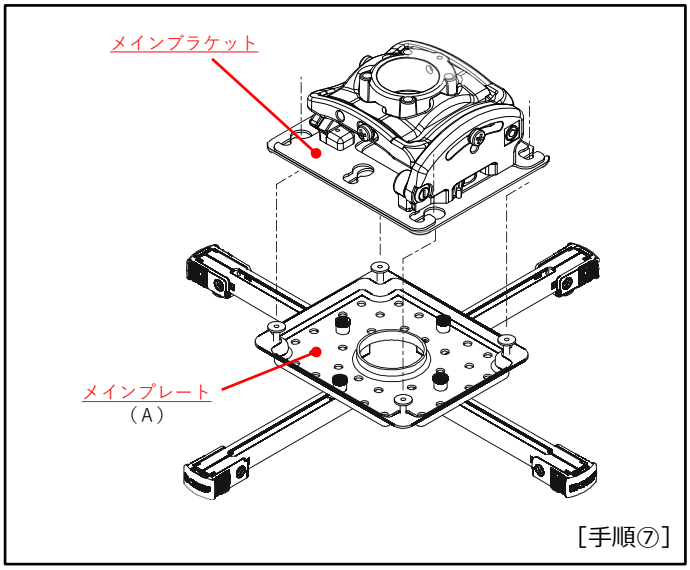
プロジェクター用ビスにレッグパーツがしっかりと固定されていることを確認してください。

この固定が不完全であると、プロジェクター本体が落下し、プロジェクター本体の破損、またはケガや事故などの原因となります。

●プロジェクターの吊下げ

▶手順⑦

メインブラケットにメインプレート（プロジェクター）を取り付けます。

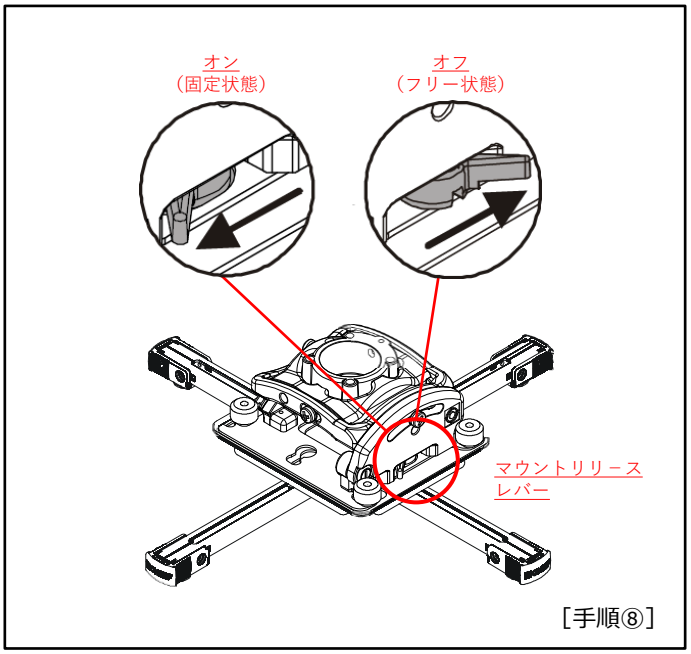


［手順⑦］

●プロジェクターの吊下げ

▶手順⑧

手順⑦をおこなったあと、ブラケット部分の脱落を防止するため必ずマウントリリースレバーをオン（固定状態）にしてください。

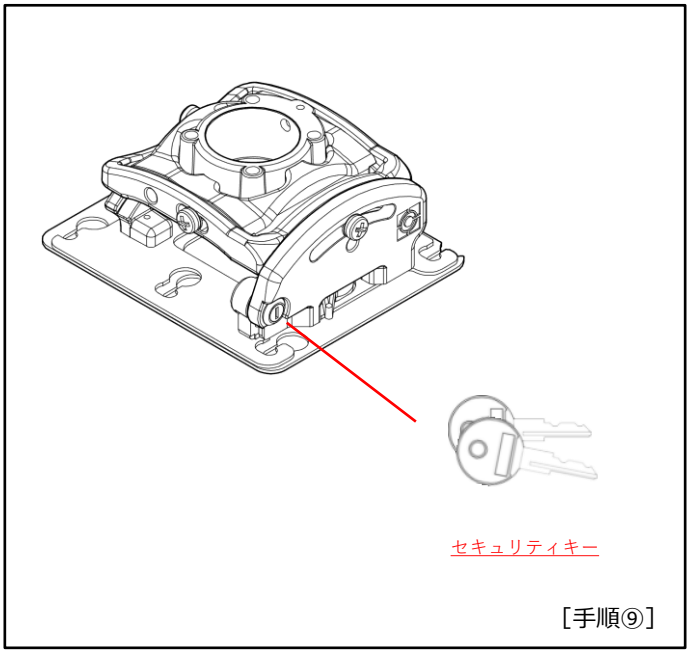


［手順⑧］

●プロジェクターの吊下げ

▶手順⑨

手順⑧で、マウントリリースレバーをロックした後に、かならず付属のセキュリティーキー（鍵）で固定して、管理者以外が不用意に機器を操作して脱落したりする事故を防いでください。
また、プロジェクターの修理やメンテナンスのために取り外す際に必要になりますので、紛失しないように保管してください。



［手順⑨］

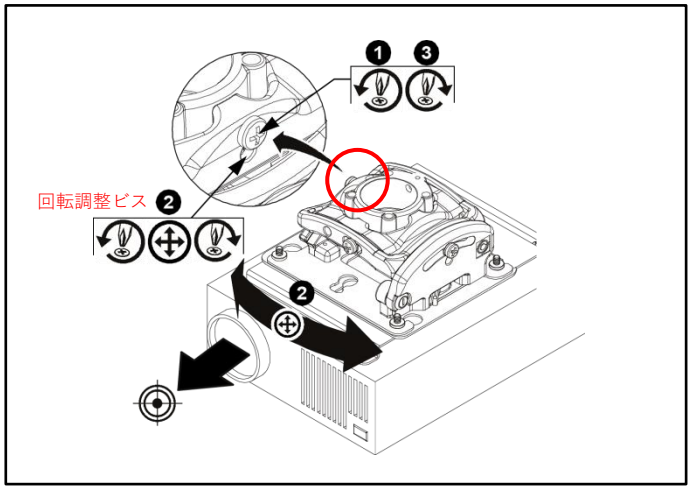
●プロジェクター調整

プロジェクターの水平方向・回転調整

▶手順❶
❶のビスを左側にまわして緩めると、プロジェクターの水平方向回転調整が可能な状態になります。

▶手順❷
❷の回転調整調整ビスをゆっくりとまわすことで、プロジェクター本体が水平方向に回転します。

▶手順❸
手順❷の作業が終了したら、ビスを右側にまわして締め込んでプロジェクターをしっかりと固定してください。

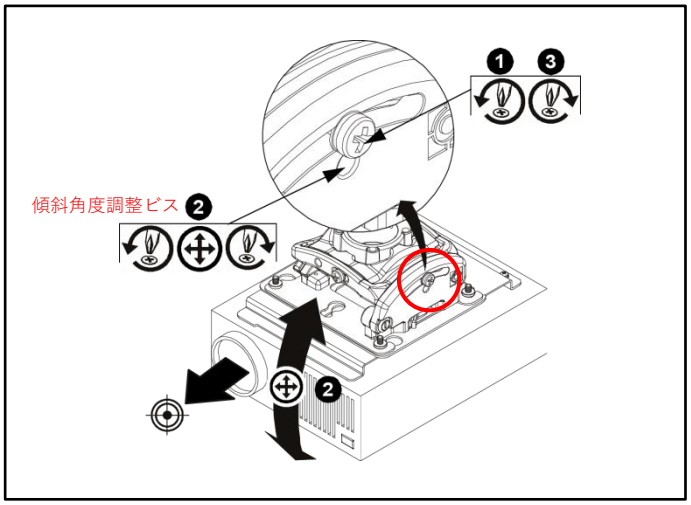


プロジェクターの前後方向・傾斜角度調整

▶手順❶
❶のビスを左側にまわして緩めると、プロジェクターの前後方向の傾斜角度調整が可能な状態になります。

▶手順❷
❷の傾斜角度調整ビスをゆっくりとまわすことで、プロジェクター本体の前後傾斜角度が変化します。

▶手順❸
手順❷の作業が終了したら、ビスを右側にまわして締め込んでプロジェクターをしっかりと固定してください。

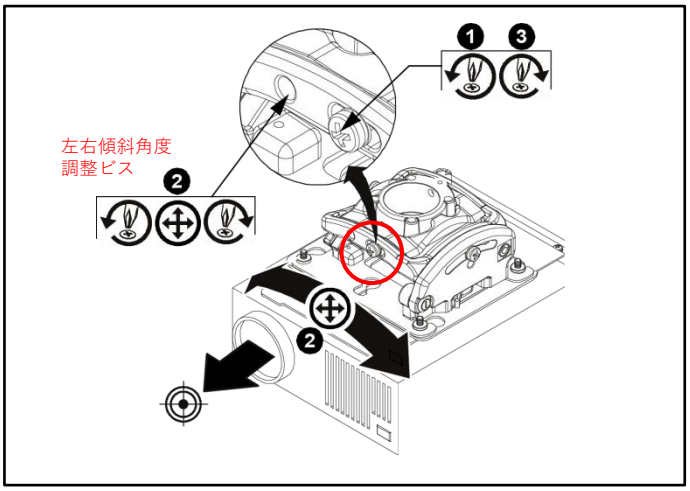


プロジェクターの左右傾き調整

▶手順❶
❶のビスを左側にまわして緩めると、プロジェクターの左右傾き角度調整が可能な状態になります。

▶手順❷
❷の左右傾き角度調整ビスをゆっくりとまわすことで、プロジェクター本体の左右傾き角度が変化します。

▶手順❸
手順❷の作業が終了したら、ビスを右側にまわして締め込んでプロジェクターをしっかりと固定してください。



http://www.avc.co.jp/

チーフ正規輸入総代理店

■システム販売事業部
＜首都圏＞ 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8階 TEL. 03-3527-8660 FAX. 03-3527-8666
＜関　西＞ 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25 TEL. 06-6836-7827 FAX. 06-6310-6144

■本社オフィス 〒135-0063 東京都江東区有明3-7-18 有明セントラルタワー8階 TEL. 03-3527-8571(代) FAX. 03-3527-8580
■大阪オフィス 〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3-18-25 TEL. 06-6836-7591(代) FAX. 06-6310-6144
■名古屋オフィス 〒460-0012 愛知県名古屋市中区千代田3-31-25 TEL. 052-322-5791(代) FAX. 052-322-0219

【関連会社】■広州愛惟希会展服務有限公司（広州・北京・上海） ■HONG KONG AVC LIMITED (香港)

第001版-05　2022年 7月29日発行